

仲町小

学校だより

メールアドレス e-mail : nakacho-e@saitama-city.ed.jpホームページアドレス <http://nakacho-e.saitama-city.ed.jp/>

失敗は×、それとも○？

校長 河野 秀樹



暖かい日も多くなり、なかよし坂にあるハナミズキの白やピンクの花々が、子どもたちの登下校を見守ってくれています。

先日来校した市の職員の方が「登校時に信号待ちをしていると、班长さんが次から来る班のスペースを空けて待つように声をかけていました。立派ですね」と、朝の様子を話してくれました。また、今年度赴任した教職員が「子どもたちが言われなくても自分たちで行動している」、「子どもたちが目を見て挨拶をしてくれる」などと、嬉しそうに教えてくれました。

これも、各御家庭や地域の方々のお指導のおかげと感謝いたします。

今年になり、徳川家康を主人公にしたドラマが放送されています。また、それに関わる時代や人物の番組もよく見るようになりました。私は、以前先輩から次のような話を聞いたことを思い出しました。

今川義元は、松平広忠の子、竹千代（後の徳川家康）を人質に迎えた時、家臣に「むごい教育をしろ」と伝えました。それを聞いた家臣は、「竹千代に粗末な食事を与え、休みなしで武芸と学問を教え込む生活をさせています」と、義元に報告しました。すると、義元は家臣を叱ってこう言いました。「人質の竹千代には、朝から晩まで海の幸や山の幸など、あふれる贅沢なご馳走を好きなだけやれ。寝たいと言ったら、いつでも、いくらでも寝かせてやれ。夏は暑くないように。冬は寒くないようにしてやれ。学問が嫌だというならやらせるな。何事も、好き勝手にさせたらよい。そのようにすれば、たいの人間はだめになる」。

昔から「かわいい子には、旅をさせよ」と言われています。少し手を放し、世の中の荒波や温かさを感じさせることが子育てには必要だという意味です。最近よく耳にするレジリエンス（resilience）という言葉は、「様々な危機や困難から立ち直る力」という定義で、「強靭さ」や「回復力」と訳されることが多い概念です。これからの不確実性の高い社会を生き抜くうえで、非常に大切な力であると考えます。

「失敗は成功の母」ということわざには、成功は失敗の上にあるもので、失敗の教訓を生かして取り組むことが大切であるという意味です。普通、成功が○で失敗は×と考えます。しかし、×を挫折と考えれば、失敗は○で、成功は◎です。失敗はチャレンジした結果です。チャレンジするという意欲があるのですから、失敗は×とは言えないのではないのでしょうか。

4月29日（土）から5月7日（日）までは、9日間の長いお休みになります。新学年が始まった疲れを癒す機会でもありますが、学校生活に戻りにくくなることも心配されます。家族で過ごす時間の中で、お子さんが考え、実践し、上手くいかなくても諦めずに再チャレンジしていく機会を設けることができる期間になるとよいと思っています。